

着物の今

今年の1月13日は**成人の日**でした。

成人の日とは20歳になった若者が大人の社会へ**仲間入り**することを**自覚**する儀式（成人式）

を行う国民の祝日で、毎年1月の第2月曜日となっています。

そして、この日は一年の中で最も振袖に**身を包んだ成人女性**をたくさん見かける日でもあります。

振袖とは**未婚**の女性が着用する**格式**の高い**正装用**の着物で、袖が長いので「振（振れる）袖」と呼ばれています。

なぜ、袖が長いのか・・・**一説には**長い袖を振って男性を**惹きつける**ためとも言われているので、**既婚女性**が振袖を着るのは**非常識**だとされています。

でも、私は独身、既婚など関係なく、振袖をいつまでも着れる女性の方がとても**魅力的**だと思います。

しかし、生活の**欧米化**により、**普段着**として着物を着る人は**少数派**となってしまいました。

世界に誇るべき**民族衣装**である着物を着る風習が**衰退**していくのはとても悲しいことです。

だから私は休日、出かける予定がなくても着物を着て過ごします。

着物は**職人**の想いが込められた**工芸品**で、日本人としてのアイデンティティなど大切なことを教えてくれます。

みなさんは着物を着てみたいですか。

仲間入 (なかまい) りする to join, joining a group

自覚 (じかく) する realize

儀式 (ぎしき) ritual, rite, ceremony, service

身 (み) を包 (つつ) む wrap myself in ~

成人女性 (せいじんじょせい) adult woman

未婚 (みこん) unmarried

格式 (かくしき) social status

正装用 (せいそうよう) for full dress

一説 (いっせつ) には according to one theory

既婚女性 (きこんじょせい) married women

非常識 (ひじょうしき) lack of common sense

欧米化 (おうべいか) the westernization

普段着 (ふだんぎ) everyday wear, ordinary clothes

少数派 (しょうすうは) minority

民族衣装 (みんぞくいしょう) national costume

衰退 (すいたい) する decline

職人 (しょくにん) craftsman, artisan

工芸品 (こうげいひん) craft